



令和元年度  
北海道高等学校英語研究会  
「授業力向上ワークショップ①」  
2020年に向けて  
技能統合に向けた段階的指導  
(SPEAKING、WRITING編)

北海道札幌国際情報高等学校  
英語科 佐々木 晃

令和元年8月9日 (金)

# 本日の説明内容

## 1 異文化理解から

- ① READING→個人練習→CARD A、Bのシェアリング
- ② ブレインストーミング→個人練習→シェアリング
- ③ ①②の統合練習
- ④ 調べ学習 + ①②の統合練習

## 2 同僚性

# 基本的な授業の構成

- 1 SMALL TALK→発表 \* ALTとのやり取り 意識すること確認  
\* 活動中励まし
- 2 ALTのGENERAL KNOWLEDGE  
プリント配布→解答（4択問題）→答え合わせ＋解説
- 3 \* JTEのワークショップ

## その他の活動

\*4月 SHOW&TELL,

7月 学校祭終了後、Simplified debate in pairs

永原先生よりアイデアをいただいて宿題導入

# ワークショップの内容①

## READING→個人練習→CARD A、Bのシェアリング

- 1 題材の導入、ORAL INTRODUCTION
- 2 本日のトピックの導入
- 3 CARD A、Bの配布 → READING
- 4 STUDENT A→廊下側で壁練習 \* 列ごと交互にABABABと配布  
STUDENT B→窓側で壁練習 \* 7分ほど
- 5 延長請求の確認
- 6 自分の机に戻る
- 7 ペアになる→STUDENT Aのシェアリング
- 8 STUDENT Bのシェアリング
- (9 発表)

# どんなときに使うのか？

- 自らの力で、解決法や理由、原因などを思いつきにくい話題を扱うとき。
- ビジュアルエイドを使わせて表現することに慣れさせるとき。  
→自分で作るときにつながる。
- READING→SPEAKINGの活動を行い授業に変化を出すため。
- 今後の活動のスマールステップとして（壁練習の導入）

# 本日の説明内容

## 1 異文化理解から

- ① READING→個人練習→CARD A、Bのシェアリング
- ② ブレインストーミング→個人練習→シェアリング
- ③ ①②の統合練習
- ④ 調べ学習 + ①②の統合練習

## 2 同僚性

# ワークショップの内容②

## ブレインストーミング→個人練習→シェアリング

### DAY 1

- 1 題材の導入、ORAL INTRODUCTION
- 2 本日のトピックの導入
- 3 ワークシートの配布
- 4 ブレインストーミング
- 5 次回シェアリングの連絡、それまでに終了させておくこと。

\* 4月なので無理させない。

# ワークショップの内容②

## ブレインストーミング→個人練習→シェアリング

### DAY 2

- 1 宿題、本日のトピックの確認
- 2 壁練習 \* 5～7分ほど
- 3 延長請求の確認
- 6 自分の机に戻る
- 7 ペアになる→じゃんけん→勝ち：シェアリング→交代  
\* READ & LOOK UPで
- 8 移動→7をもう1セット
- 9 移動→7をワークシートを見ずに
- 10 発表

# どんなときに使うのか？

- 生活体験などから、自らの力で、解決法や理由、原因などを思いつきやすい話題を扱うとき。
- 今後の活動のスマールステップとして
- シェアリングを重視して、原稿から離れさせて意見を伝え合わせたいとき  
→表現の取り込み、SPの練習の仕方を身に付けさせる。
- ブレインストーミングに慣れさせるため

# 本日の説明内容

## 1 異文化理解から

- ① READING→個人練習→CARD A、Bのシェアリング
- ② ブレインストーミング→個人練習→シェアリング
- ③ ①②の統合練習
- ④ 調べ学習 + ①②の統合練習

## 2 同僚性

# ワークショップの内容③

## ①②の統合練習

### DAY1

- 1 題材の導入、ORAL INTRODUCTION
- 2 本日のトピックの導入
- 3 ワークシートA、Bの配布
- 4 ブレインストーミング
- 5 次回シェアリングの連絡、それまでに終了させておくこと。

# ワークショップの内容③

## ①②の統合練習

### DAY 2

- 1 宿題、本日のトピックの確認
- 2 壁練習 \* 5～7分ほど  
CARD A→廊下側    CARD B→窓側で壁練習  
(3 延長請求の確認)
- 3 自分の机に戻る
- 4 ペアになる→じゃんけん→勝ち：シェアリング→交代  
\* READ & LOOK UPで
- 5 移動 \* Aの生徒のみ移動→7をもう1セット
- 6 移動→7をワークシートを見ずに
- 7 発表

# どんなときに使うのか？

- ・リサーチの必要がない、生活体験で対処可能な話題を扱うとき。
- ・今までの活動がこの活動のスマールステップになる。
- ・シェアリングを重視して、原稿から離れさせて意見を伝え合わせたいとき。

# 本日の説明内容

## 1 異文化理解から

- ① READING→個人練習→CARD A、Bのシェアリング
- ② ブレインストーミング→個人練習→シェアリング
- ③ ①②の統合練習
- ④ 調べ学習 + ①②の統合練習

## 2 同僚性

# ワークショップの内容④

## 調べ学習 + ①②の統合練習

### DAY1

- 1 題材の導入、ORAL INTRODUCTION
- 2 本日のトピックの導入
- 3 リサーチ用のワークシートA、Bの配布、ipadの配布
- 4 ipadで見つけたなるべく沢山の情報をメモさせる。
- 5 次回シェアリングの連絡、それまでに終了させておくこと。
- 6 ipad回収

# ワークショップの内容④

## 調べ学習 + ①②の統合練習

### DAY 2

- 1 宿題と本日のトピックABの確認
- 2 ブレインストーミング \* 沢山ある情報のうち自分が重要と思うもの  
+ その理由
- 3 ブレインストーミングのワークシート、ipadの配布 \* 休んだ生徒のため
- 4 ブレインストーミング \* 自分が選んだ情報 + その理由
- 5 次回シェアリングの連絡、それまでに終了させておくこと。
- 6 ipadの回収

# ワークショップの内容④

## 調べ学習 + ①②の統合練習

### DAY 3

- 1 宿題、本日のトピックの確認
- 2 壁練習 \* 5～7分ほど  
CARD A→廊下側    CARD B→窓側で壁練習  
(3 延長請求の確認)
- 3 自分の机に戻る
- 4 ペアになる→じゃんけん→勝ち：シェアリング→交代  
\* READ & LOOK UPで
- 5 移動 \* Aの生徒のみ移動→7をもう1セット
- 6 移動→7をワークシートを見ずに
- 7 発表

# どんなときに使うのか？

- 自らの力で、解決法や理由、原因などを思いつきにくい話題を扱うとき。
- 今までの活動がこの活動のスマールステップになる。
- シェアリングを重視して、原稿から離れさせて意見を伝え合わせたいとき。
- リサーチの基本として、情報の蓄積→優先的な情報への絞り込みの練習

# 本日の説明内容

## 1 異文化理解から

- ① READING→個人練習→CARD A、Bのシェアリング
- ② ブレインストーミング→個人練習→シェアリング
- ③ 調べ学習 + ①②の統合練習
- ④ 調べ学習 + ①②の統合練習

## 2 同僚性

世界人類が平和でありますように！



ご静聴ありがとうございました！

Email: [hikatanryochankanikani2525@gmail.com](mailto:hikatanryochankanikani2525@gmail.com)